

タンチョウ博士のお話（第5回）

今回は「体重・体長や羽の大きさ」などについての質問です。質問は、〔中小〕佐藤文音さん・柴田大輔さん・山崎翔也さん、〔北小〕大澤悠亮さん、〔南小〕林大樹さん、〔長高〕黒澤愛来さん・丸山景伍さんなど34名の方からいただきました。

○身長は中学生、体重は6か月の赤ん坊？

ぼくたちトリ仲間は、からだの大きさもいろいろ。このうち世界でいちばん小さなトリをご存知かな？ それはキューバに住むマメハチドリで、体長6cm、重さ2gほど。1円玉の大きさが直径2cm、重さが1gなので、体長は1円玉を1列に3枚、重さは2枚分で同じになる。

では、大きな鳥は？ そう、ダチョウ！大きいのは頭の高さまで2m 80cm、重さ150kgにもなるけど、もちろん飛べない。

さて、今日は、ぼくの身体測定の話。君たちも年1回、学校で身長や体重を測るね。身長は、「かかとを台に着け」、「背を伸ばし」、直立姿勢で測る。だけど、ぼくたちはそんなことはできない。

そこで、からだの大きさを測るには、あおむけに寝て、くちばしを水平にし、くちばしの先から、尾の先までを測る。これを、ぼくたちは「体長」というけれど（写真①）、生きたままはむりだから、死んだときぐらいしかできない。ぼくの体長は140cmほどだ。

しかし、ちょっと待った！！足の短い小鳥はよいけれど、ぼくは足が長く、あおむけに寝ると尾から足がはみ出すよ。だいいち、ヒトの身長は足の長さも入っているね。さらに、ぼくの黒い足は、関節でとちゅうから曲がるけど、ここはヒトの「かかと」にあたり、「ひざ」関節は体にくっついて、外から見えない。つまり、ヒトからみれば、ぼくは「つま先立ち」しているんだ。

それで、けっきょく、つま先立ちしたまま、体も首も立てた姿勢で、くちばしを水平にしたときの頭までのぼくの高さは、だいたい155cmくらいかな（写真②）。これは、中学1、2年生男子の平均身長と同じくらいだよ。でもね、日本にいる鳥の中で背がいちばん高いのは、なんと、ぼくたちタンチョウなのだ！！（エヘン！）

さて、中2男子の平均体重は49kgだけれど、ぼくはその6分の1（8kg）くらい。ヒトでいえば、6か月の赤ん坊と同じ重さだ。ぼくの仲間がいちばん重いのは13kgもあったけれど、ぼくの体重なら20羽ほどいないとダチョウ1羽におよばない。だけど、ダチョウはトリのくせに飛べないが、ぼくはちがうよ。飛べるトリのなかで、世界でいちばん重いのはアフリカオオノガンの18kgだけれど、ぼくは15番目くらいかな。日本でなら、オオハクチョウに次いで2番目くらいの重さだよ。

なお、翼を広げたとき、左右の羽先の間は2m 40cmにもなるから、たたみ1畳の長軸より60cmもはみ出すことになる。もちろん、生まれたときはぼくも小さくて、とてもかわいらしかった（らしい）。体長は14cmほどで、体重も140gくらい。500円玉なら20枚ほどの重さ。でも、生まれて3週間目くらいの伸び盛りには、毎日40gほど体重が増えたと、お母さんが言っていた。

（文：正富宏之）

写真①：助走（飛び立つために走る）するタンチョウ。首を伸ばした状態で、くちばしの先から尾の先までが体長。

写真②：身長1m75cmのヒト（給餌する人）とタンチョウ。（写真：正富宏之）



写真①



写真②